

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-I-17

4-I-17

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	各種施設のバリアフリー化
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光交流機構、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性の向上を図る。 【事業内容】 ○ 公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など、各種施設のバリアフリー化を推進する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の受入環境を整え利便性向上を図る。		
これまでの取組実績	○ 施設の現状把握を行った。 ○ 改修補助制度を実施した。 ○ バリアフリー関連補助制度を紹介した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 補助制度の紹介を行う。 ● 今後改修予定の公共施設におけるバリアフリー化の検討を行う 【R6年度実績】 ● 実績なし		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・<u>B</u>・C] ◇ 全てではないが概ね達成されている。		
課題	■ よりよい環境を整備するため施設の調査・現状の把握を進める必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。